

生ワクチン

〈例〉

BCG、麻疹、風疹、おたふく、水ぼうそう、ポリオ（経口）、ロタウイルス胃腸炎、黄熱病ワクチン

不活化ワクチン

- ・微生物の病原性を失わせたもの。発症の可能性がない。

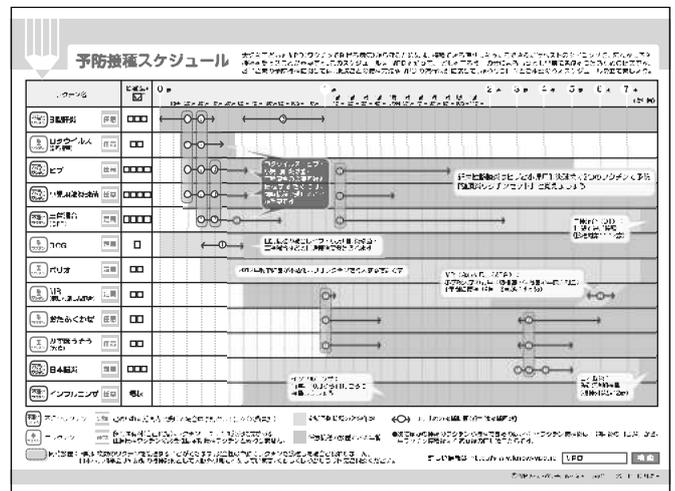
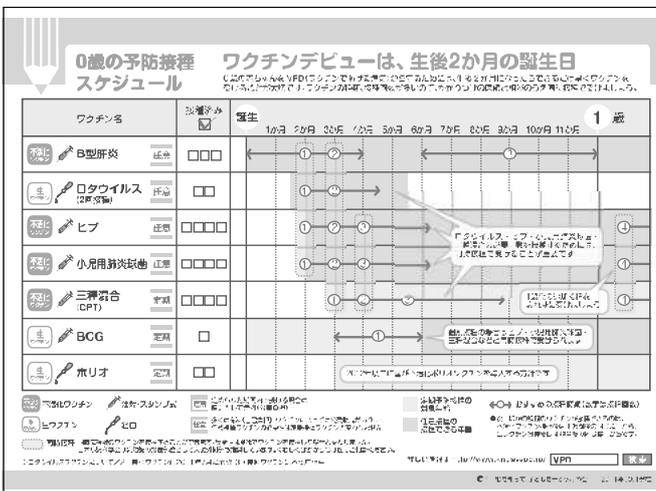
不活化ワクチン

〈例〉

ポリオ（不活化）、ヒブ、肺炎球菌、DPT、インフルエンザ、B型肝炎、A型肝炎、狂犬病、パピローマウイルスなど

日本のワクチンの現状

- ・日本のワクチン制度は、世界的にみると、かなり遅れている。
- ・「定期接種」だけでは子どもを守れない。



VPD ワクチンで防げる病気

- ・かかると治療が難しく、命に関わる病気だからこそワクチンが開発された。
- ・先進国の中でも、日本はワクチン接種率が低いため、VPDにかかる子どもが多い。

ワクチンで防げる主な病気

麻疹	百日咳	おたふくかぜ
風疹	ジフテリア	水ぼうそう
ポリオ	日本脳炎	インフルエンザ
結核	A型肝炎	ヒブ感染症
破傷風	B型肝炎	肺炎球菌感染症
子宮頸がん	ロタウイルス胃腸炎	

B型肝炎 予防 ワクチン B型肝炎ワクチン

- B型肝炎ウイルスが感染し、急性肝炎、肝硬変、肝臓がんの原因となる。
- 任意接種だが、WHOは全ての子どもに推奨。
- 母子感染の他に水平感染もある。原因不明のことも多い。
- どの年齢からでも開始できるが、生後1-3ヶ月が推奨されている。

肺炎球菌感染症 予防 ワクチン 肺炎球菌 ワクチン

- 肺炎球菌による感染症。細菌性肺炎、細菌性髄膜炎や急性中耳炎の原因。
- 集団保育は感染のリスクが高い。
- 任意接種だが、WHOは全ての子どもに推奨。
- 2ヶ月になったら接種開始。合計4回。

ヒブ感染症 予防 ワクチン ヒブワクチン

- Haemophilus influenzae* type b(Hib:ヒブ)による感染症。細菌性髄膜炎や急性喉頭蓋炎の原因。
- 集団保育は感染のリスクが高い。
- 任意接種だが、WHOは全ての子どもに推奨。
- 2ヶ月になったら接種開始。合計4回。

非常に怖い細菌性髄膜炎

- 日本では毎年約30人が細菌性髄膜炎で死亡。生存しても重い後遺症を残す。
- 0歳から4歳頃までがかかりやすい。
- 初期症状は風邪と見分けがつかない。何となく機嫌が悪い、食欲が無い、嘔吐といった症状。
- 活気が低下してくる場合はすぐに受診。

ロタウイルス胃腸炎 予防 ワクチン ロタウイルス ワクチン

- ロタウイルスによる胃腸炎。白い下痢便が特徴で5歳頃までに何度も罹患する。
- 重症化を9割防ぐことができる。
- 任意接種だが、WHOは全ての子どもに推奨。
- 2ヶ月になったら接種開始。日本では昨年11月に承認。
- 経口接種。比較的高価。

ジフテリア・百日咳・破傷風 予防 ワクチン 3種混合 (DPT) ワクチン

- D (ジフテリア) ・ P (百日咳) ・ T (破傷風)。
- 百日咳は乳児で重症化すると命を落とす危険性がある。
- 定期接種。3ヶ月で接種開始。
- 大人の百日咳が増えている。

結核 予防 ワクチン BCGワクチン

- 結核菌は肺結核の原因になる。
- 日本では年間約25000人が発症。子どもは年間約100人。
- 定期接種。接種により発症を1/4にする。
- 生後5ヶ月までに接種。

ポリオ 予防 ワクチン ポリオワクチン (急性灰白髄炎)

- ポリオウイルスによって発症。日本はかつては大流行していたが、ここ30年は発症なし。
- 定期接種。多くの地域は集団接種。
- 経口生ワクチン。20-30万人に1人の割合でワクチンによるポリオが発症している。
- 不活化ワクチンの導入が遅れている。
- 生後3ヶ月になったら接種開始。

麻疹 (はしか) 予防 ワクチン MRワクチン

- 麻疹ウイルス。感染力が非常に強い。
- 世界から、日本は「麻疹輸出国」と言われるぐらい、いまだに流行っている。
- 定期接種。
- 1歳になったら接種を。

風疹 予防 ワクチン MRワクチン

- 風疹ウイルス。感染力が強い。
- 発熱、リンパ節が腫れる、発疹が特徴。
- 妊娠初期に感染すると児が先天性風疹症候群になる可能性。
- 定期接種。

おたふくかぜ
(流行性耳下腺炎)

予防
ワクチン

おたふくかぜ
ワクチン

- ムンプスウイルスによる。毎年60万人が発症。
- 耳下腺腫脹、髄膜炎、膵炎、難聴、不妊症。
- 任意接種だが、世界の多くの国は定期接種。
- 1歳を過ぎ、MRワクチンの次に接種。

みずぼうそう
(水痘)

予防
ワクチン

水痘
ワクチン

- 水痘帯状疱疹ウイルスによる。
- 発熱、水ぶくれ、肺炎、脳炎。
- 後に帯状疱疹の危険性。
- 任意接種。
- 1歳頃から接種。保育園児は必須！

日本脳炎

予防
ワクチン

日本脳炎ワクチン

- 日本脳炎ウイルスに感染したブタの血を吸った蚊を介して感染。
- 日本では年間10名ほど。
- 定期接種。通常は3歳以降に接種。

インフルエンザ

予防
ワクチン

インフルエンザ
ワクチン

- 接種によって発病を予防することが出来る。
- 子どもでは2回接種が必要。
- 任意接種。
- 効果は5-6ヶ月で、流行するウイルスが変化するため毎年の接種が必要。

予防接種の問題点

- 任意接種のワクチンも必要
- 費用がかかる
- 生ワクチンで発症するポリオ

本日のまとめ

- 感染症の初期は登園を控えよう。
- 保育園での集団感染を防ごう。
- ワクチンで病気を防ごう。